

# ～脳神経外科発～

## 手術で改善できる**歩行障害、認知症、尿失禁** 特発性正常圧水頭症(iNPH)を知っていますか？

なるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことが大切ですので、もしかしたら・・・と思ったら、脳神経外科を受診しましょう。

### 症状 と 発生頻度



- ・小刻み
- ・すり足
- ・開脚

#### ●歩行障害

(出現頻度90%～100%)

歩幅の減少(小股でよちよち)、足の挙上低下(すり足)、歩隔の開大(両足が開きぎみ)が三大特徴です。このため歩行はゆっくりで、不安定となり、転倒しやすくなります。もっとも高率に出現します。



- ・自発性・意欲の低下
- ・集中力・作業速度の低下
- ・記名力障害

#### ●認知機能障害

(出現頻度70%～90%)

集中力、意欲、自発性の低下、反応速度の低下があります。趣味などをしなくなり、1日中ボーっとしています。



- ・頻尿
- ・尿意切迫
- ・尿失禁

#### ●排尿障害

(出現頻度60%～80%)

トイレが近くなり、我慢できる時間が短くなります。歩行障害のためにトイレまで間に合わずに失禁してしまうこともあります。

水頭症とパーキンソン病のちがいを ●歩き方が全然ちがう



特発性正常圧水頭症には特徴的な歩き方が見られます

発生頻度は、**認知症の原因疾患の5%-10%**とされています。

日本全国に**70万人程度**の方が罹患している可能性があり、これは**パーキンソン病の患者さんの2～4倍の有病率**です。

しかしながら、その診療率は低く、ほとんどの方が見過ごされているのが現実です。

